

2015年3月期 決算説明資料

2015年5月26日

文化シヤッター株式会社

目次

2015年3月期の実績について

P 1

事業環境について

P 2

業績について

P 3

売上高及び営業利益の増減要因

P 4

セグメント別売上高及び営業利益

P 5

売上高の用途別セグメント別増減分析

P 6

2016年3月期の見通しについて

P 7

事業環境予想について

P 8

業績見通しについて

P 9

売上高及び営業利益の増減要因

P10

セグメント別状況

P11

第三次中期経営計画の進捗状況について

P12

第三次中計の進捗状況とセグメント別売上高推移

P13

営業力の革新① シャッター事業の強化

P14

営業力の革新② ドア事業の強化

P15

営業力の革新③ ストック市場への注力

P16

営業力の革新④ 施工力の強化

P17

営業力の革新⑤ 不二サッシ株式会社との協業推進

P18

営業力・商品力の革新 高付加価値商品の拡販

P19

営業力・生産力の革新 海外事業の取り組み強化

P20

経営基盤の革新 企業コスト削減（BXTCR）の

P21

取り組み強化

トピックス

P22

トピックス① 事業投資 西山鉄網製作所をグループ化

P23

トピックス② 新商品紹介

P24

トピックス③ 止水事業の取り組み強化

P25

参考資料

P26

文化シャッターグループ概要

参- 1

文化シャッターグループの会社構成と海外事業展開

参- 2

連結貸借対照表

参- 3

連結キャッシュフロー計算書

参- 4

シャッター関連製品事業の状況（主要製品）

参- 5

建材関連製品事業の状況（主要製品）

参- 6

サービス事業、リフォーム事業の状況

参- 7

太陽光発電システム事業の状況

参- 8

2015年3月期の実績について

	2013年3月期		2014年3月期		2015年3月期	
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
新設住宅着工戸数 (万戸)	89.3	106.2%	98.7	110.6%	88.0	89.2%

非住宅着工床面積 (万㎡)	2013年3月期		2014年3月期		2015年3月期	
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
工場・倉庫 (万㎡)	1,495	116.6%	1,506	100.7%	1,591	105.6%
医療・福祉 (万㎡)	924	84.5%	1,111	120.2%	915	82.4%
店舗 (万㎡)	743	143.0%	835	112.3%	714	85.6%
事務所 (万㎡)	612	105.0%	609	99.5%	618	101.5%

◆ 経済環境については、政府による経済対策や日本銀行による金融緩和策を背景に、総じて回復基調で推移した一方で、円安による原材料価格の上昇や、消費税増税後の個人消費の停滞感など、不安要素を払拭できない状況で推移した。

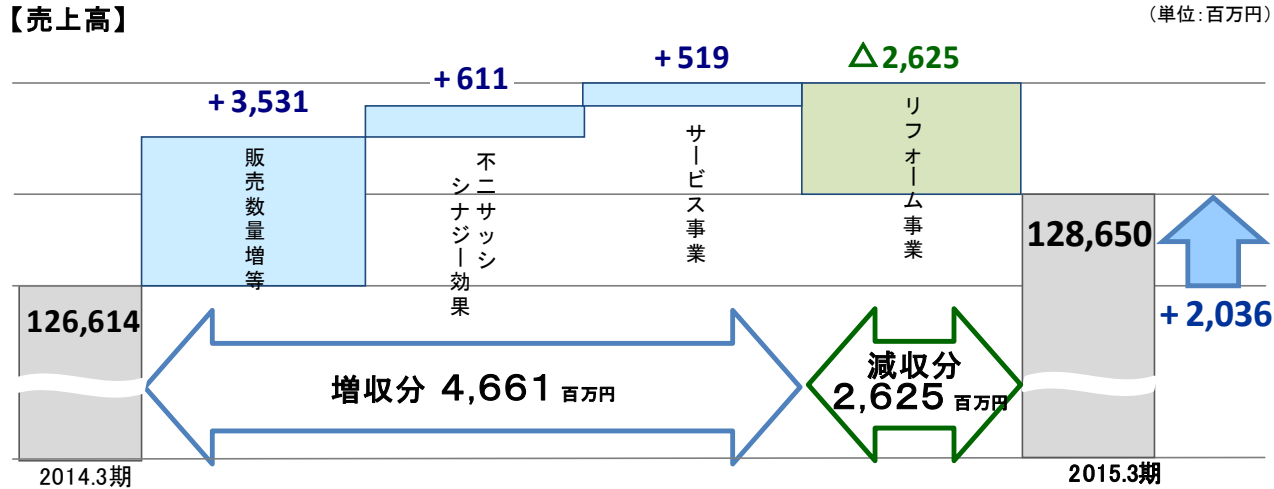
◆ 建築市場については、新設住宅着工戸数は、消費税増税後の影響が大きく、前期比10万7,000戸減の88万戸で推移した。

非住宅着工床面積は、主に医療・福祉向けや店舗向けが減少したことなどにより、前期比364万㎡減の5,261万㎡で推移した。

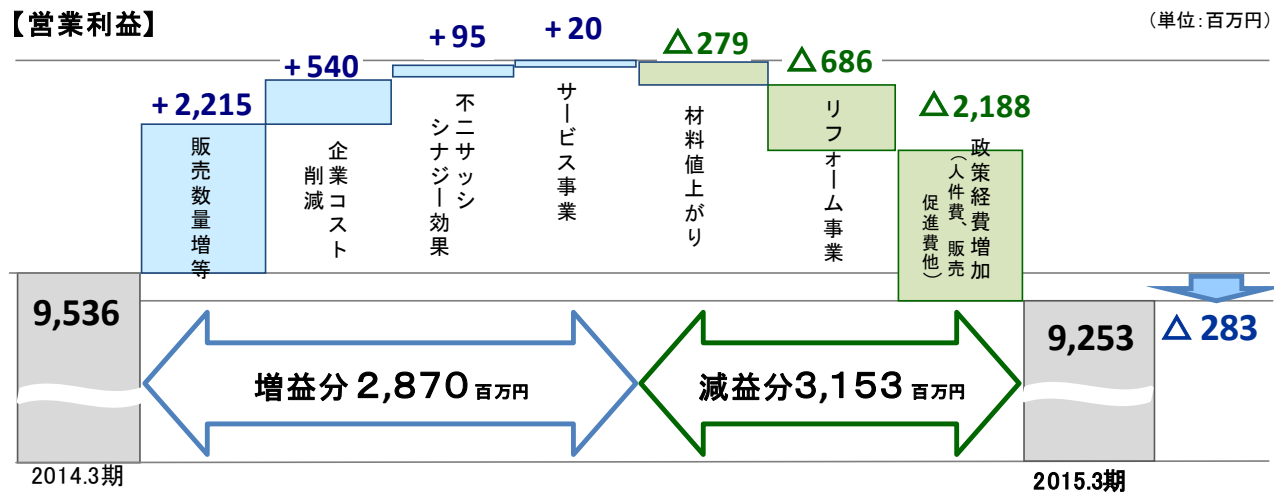
(単位:百万円)

	2014年3月期		2015年3月期			
	実績	売上比	11月予想	実績	売上比	前期比
売上高	126,614	100.0%	134,000	128,650	100.0%	101.6%
売上原価	91,647	72.4%	97,000	92,738	72.1%	101.2%
売上総利益	34,966	27.6%	37,000	35,912	27.9%	102.7%
販売費及び一般管理費	25,430	20.1%	27,000	26,658	20.7%	104.8%
営業利益	9,536	7.5%	10,000	9,253	7.2%	97.0%
経常利益	10,543	8.3%	11,000	10,045	7.8%	95.3%
当期純利益	7,957	6.3%	8,000	6,492	5.0%	81.6%
1株当たり配当金	14円		16円	17円	+3円	
設備投資額	2,681		3,500	3,361	125.4%	
減価償却費	1,652		1,958	1,791	108.4%	
期末 従業員 (人)	正社員	3,374	3,540	3,518	+144	
	臨時雇用者	891	960	948	+57	
	合計	4,265	4,500	4,466	+201	

- ◆ 売上高は、5期連続の増収で、2期連続の過去最高売上。
- ◆ 販売費及び一般管理費は、要員増及び従業員の処遇アップ等により、前期比4.8%増。
- ◆ 営業利益、経常利益、当期純利益は減益。
- ◆ 1株当たり配当金は、創立60周年に伴う記念配当1円を含む3円増配の17円に引き上げ。



◆ 売上高の増減要因について、
 増収要因は、「販売数量の増加」、
 「不ニサッシとのシナジー効果」と
 「サービス事業」による売上拡大が
 寄与。
 減収要因は、消費税増税後の影響
 で「リフォーム事業」が苦戦。
 トータルで20億3,600万円の増収。



◆ 営業利益の増減要因について、
 増益要因は、「販売数量の増加」、
 「企業コストの削減」などが寄与。
 減益要因は、「材料費の値上がり」、
 「リフォーム事業」の売上減、
 人件費を中心とした「政策経費の
 増加」などが影響。
 トータルで2億8,300万円の減益。

セグメント別売上高及び営業利益

(単位:百万円)

	2014年3月期		2015年3月期	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
シャッター関連製品事業	47,931	7,128	48,060	6,751
伸率	115.0%	134.3%	100.3%	94.7%
伸額	6,268	1,823	129	△ 377
建材関連製品事業	49,195	2,249	53,013	3,118
伸率	108.8%	306.2%	107.8%	138.6%
伸額	3,992	1,515	3,818	869
サービス事業	14,983	1,697	15,502	1,717
伸率	108.0%	118.1%	103.5%	101.2%
伸額	1,104	260	519	20
リフォーム事業	11,042	740	8,417	54
伸率	115.3%	187.2%	76.2%	7.3%
伸額	1,469	345	△ 2,625	△ 686
その他事業	3,461	179	3,656	261
伸率	133.0%	163.0%	105.7%	145.3%
伸額	859	69	195	82
配賦不能額	-	2,458	-	2,649
合計	126,614	9,536	128,650	9,253
伸率	112.1%	172.9%	101.6%	97.0%
伸額	13,693	4,021	2,036	△ 283

- ◆ シャッター関連製品事業は、防火仕様の窓シャッターと、工場や商業施設向けの重量シャッターが好調に推移した一方で、消費税増税後の影響で軽量シャッターが低調に推移したことにより、増収減益。
- ◆ 建材関連製品事業は、主に医療・福祉向けの引き戸など、非住宅向けのドアが好調に推移したことなどにより、増収増益。
- ◆ サービス事業は、緊急の修理およびメンテナンス対応が好調に推移したことにより、増収増益。
- ◆ リフォーム事業は、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動が大きく影響したことにより、減収減益。
- ◆ その他事業は、太陽光発電システム事業と止水事業が好調に推移したことにより、増収増益。

売上高の用途別セグメント別増減分析

(単位:億円)

		増減収 売上高	工場・倉庫 向け	医療福祉・ 学校向け	オフィスビル・ 公共施設向け	商業施設 向け	その他 住宅向け等
増収額 合計	増 減	20.3	△ 5.7	31.9	6.9	6.1	△ 18.9
売上高 合計	売上高	1,286.5	288.0	239.1	145.5	110.1	503.8
シャッター関連 製品事業計	増 減	1.3	△ 5.4	4.7	1.6	2.8	△ 2.4
	売上高	480.6	172.2	32.5	31.7	54.2	190.0
軽量シャッ ター群	増 減	△ 9.6	△ 3.8	0.1	0.1	△ 0.7	△ 5.3
	売上高	144.4	53.1	3.6	7.9	12.1	67.7
重量シャッ ター群	増 減	8.1	0.7	3.0	1.4	2.4	0.6
	売上高	196.5	98.9	14.0	16.1	29.3	38.2
窓シャッター 群	増 減	1.4	-	-	-	-	1.4
	売上高	65.3	-	-	-	-	65.3
シャッター関 連群	増 減	1.4	△ 2.3	1.6	0.1	1.1	0.9
	売上高	74.4	20.2	14.9	7.7	12.8	18.8
建材関連製品 事業計	増 減	38.2	△ 0.9	26.2	3.1	2.8	7.0
	売上高	530.1	51.3	196.7	82.9	29.6	169.7
エクステリア 群	増 減	△ 1.8	-	-	-	-	△ 1.8
	売上高	71.3	-	-	-	-	71.3
ドア・パー ティション群	増 減	40.0	△ 0.9	26.2	3.1	2.8	8.8
	売上高	458.9	51.3	196.7	82.9	29.6	98.4
サービス 事業計	増 減	5.1	0.5	0.9	1.9	0.2	1.6
	売上高	155.0	57.4	6.9	27.4	24.8	38.4
リフォーム 事業計	増 減	△ 26.2	0.0	0.0	0.0	0.0	△ 26.2
	売上高	84.1	-	-	-	-	84.1
その他 事業計	増 減	1.9	0.1	0.1	0.3	0.3	1.1
	売上高	36.5	7.1	3.0	3.5	1.5	21.5

- ◆ 「工場・倉庫向け」は、軽量シャッターが低調に推移し、288億円と5億7,000万円の減収。
- ◆ 「医療福祉・学校向け」は、バリアフリー対応の引き戸「カームスライダー」が好調に推移し、239億1,000万円と31億9,000万円の増収。
- ◆ 「オフィスビル・公共施設向け」は、重量シャッターとスチールドアが好調に推移し、145億5,000万円と6億9,000万円の増収。
- ◆ 「商業施設向け」は、重量シャッターとスチールドアが好調に推移し、110億1,000万円と6億1,000万円の増収。
- ◆ 「その他住宅向け等」は、消費税増税後の影響で軽量シャッターとリフォーム事業が低調に推移し、503億8,000万円と18億9,000万円の減収。

2016年3月期の見通しについて

【事業環境】	2014年3月期		2015年3月期		2016年3月期	
	実績	前期比	実績	前期比	予想	前期比
新設住宅着工戸数 (万戸)	98.7	110.6%	88.0	89.2%	89.7	101.9%
非住宅着工床面積 (万㎡)	5,625	108.1%	5,261	93.5%	5,321	101.1%
工場・倉庫 (万㎡)	1,506	100.7%	1,591	105.6%	1,639	98.5%~ 103.0%
医療・福祉 (万㎡)	1,111	120.2%	915	82.4%	915	
店舗 (万㎡)	835	112.3%	714	85.6%	721	
事務所 (万㎡)	609	99.5%	618	101.5%	609	

新設住宅着工戸数の予想値は、住宅生産団体連合会のデータを参考に試算
 非住宅着工床面積は、建設経済研究所のデータを参考に試算

【売上構成比】	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期
住宅向け	27.2%	27.6%	26.5%
非住宅向け	72.8%	72.4%	73.5%

◆ 経済環境については、個人消費の回復の遅れなど、景気が下振れするリスクはあるものの、政府による経済対策や日本銀行による金融緩和策を背景として企業収益に改善の動きが見られるなど、好転の兆しが見込まれると予想。

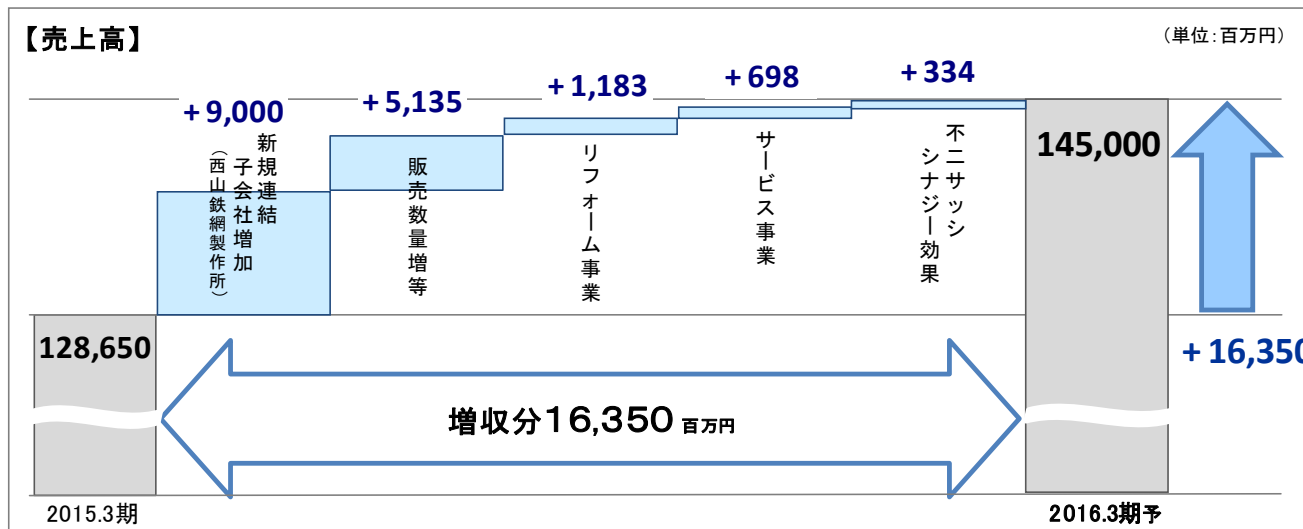
◆ 建築市場については、新設住宅着工戸数は、消費税増税の延期と省エネ住宅ポイント制度等の市場活性化策などにより、前期比101.9%の89万7,000戸を予想。

非住宅着工床面積は、オフィスビルをはじめ物流倉庫を中心に緩やかな回復基調が継続する見込みから、前期比101.1%の5,321万㎡を予想。

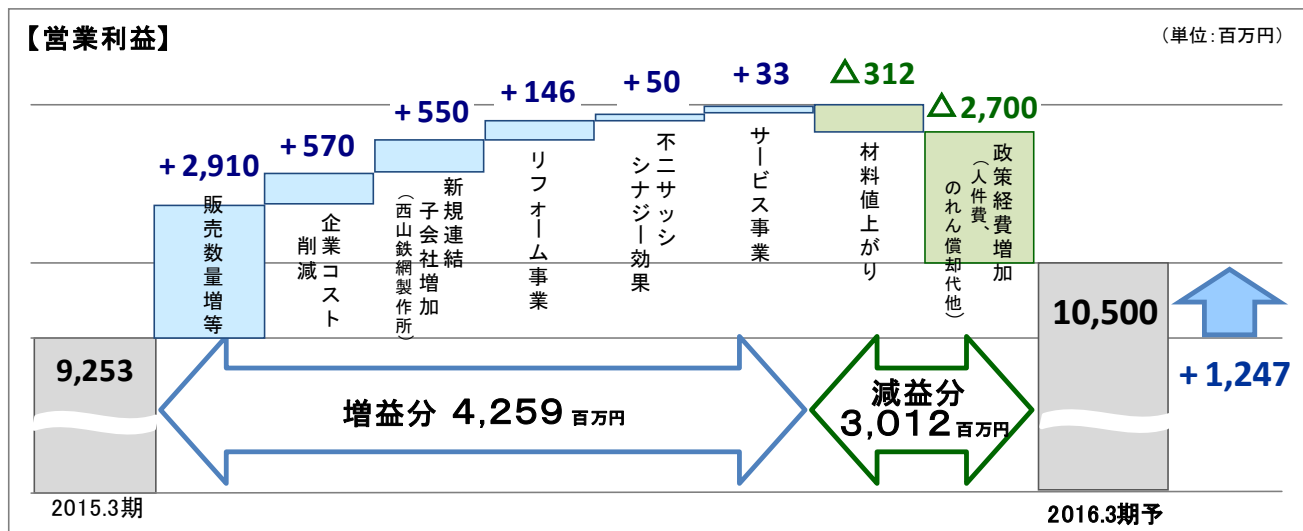
(単位:百万円)

	2015年3月期			2016年3月期							
	上期実績	下期実績	通期実績	上期予想	前年同期比	下期予想	前年同期比	通期予想	売上比	前期比	
										伸率	伸額
売上高	57,134	71,516	128,650	65,000	113.8%	80,000	111.9%	145,000	100.0%	112.7%	16,350
売上原価	40,778	51,960	92,738	47,200	115.7%	58,300	112.2%	105,500	72.8%	113.8%	12,762
売上総利益	16,355	19,557	35,912	17,800	108.8%	21,700	111.0%	39,500	27.2%	110.0%	3,588
販売費及び一般管理費	13,151	13,507	26,658	14,400	109.5%	14,600	108.1%	29,000	20.0%	108.8%	2,342
営業利益	3,203	6,050	9,253	3,400	106.2%	7,100	117.4%	10,500	7.2%	113.5%	1,247
経常利益	3,666	6,379	10,045	3,800	103.7%	7,200	112.9%	11,000	7.6%	109.5%	955
当期純利益	2,322	4,170	6,492	2,350	101.2%	4,650	111.5%	7,000	4.8%	107.8%	508
1株当たり配当金	8円	9円 (うち記念1円)	17円 (うち記念1円)	10円		10円		20円		-	+4円
設備投資額	711	2,650	3,361	-			3,500		104.1%	+139	
減価償却費	850	941	1,791	-			2,340		130.7%	+549	
期末従業員 (人)	正社員	3,517	-	3,518			3,800		-	+282	
	臨時雇用者	927	-	948			1,000		-	+52	
	合計	4,444	-	4,466			4,800		-	+334	

- ◆ 非住宅着工床面積及び新設住宅着工戸数の増加見通しに加え、3月末の受注残高が前期比で54億円増加していること、さらには今年4月1日付けで全株式を取得した西山鉄網製作所の数字が反映されることから、売上高は前期比112.7%の1,450億円を見込む。
- ◆ 営業利益は、市場の好転と採算性の高い受注活動を強化することで、前期比113.5%の105億円を見込む。
- ◆ 1株当たりの配当金は、4円増配の20円を見込む(前期は記念配当1円実施)。
- ◆ 設備投資額は、主に設備の合理化及び更新と、システム関連費用を合わせた35億円を計画。



◆ 売上高の増減要因について、
「新規連結子会社の増加」「販売数量の増加」「リフォーム事業」の売上拡大などを見込み、163億5,000万円の増収を見込む。



◆ 営業利益の増減要因について、
増益要因は、「販売数量の増加」、「企業コストの削減」「新規連結子会社の増加」などを見込む。
減益要因は、「材料の値上がり」、工事員を含めた人件費を中心とする「政策経費の増加」を見込む。
トータルで12億4,700万円の増益を見込む。

(単位: 百万円)

【売上高】	2015年3月期				2016年3月期			
	上期実績	伸率	通期	伸率	上期予想	伸率	通期予想	伸率
シャッター関連事業	21,953	98.5%	48,060	100.3%	23,000	104.8%	51,500	107.2%
建材関連事業	21,833	105.0%	53,013	107.8%	27,700	126.9%	63,600	120.0%
サービス事業	7,144	106.3%	15,502	103.5%	7,600	106.4%	16,200	104.5%
リフォーム事業	4,376	86.1%	8,417	76.2%	4,700	107.4%	9,600	114.0%
その他事業	1,824	109.0%	3,656	105.7%	2,000	109.6%	4,100	112.1%
合計	57,134	101.0%	128,650	101.6%	65,000	113.8%	145,000	112.7%
【営業利益】								
シャッター関連事業	3,062	119.7%	6,751	94.7%	3,250	106.1%	7,700	114.0%
建材関連事業	720	144.9%	3,118	138.6%	640	88.9%	3,300	105.8%
サービス事業	586	120.0%	1,717	101.2%	650	110.8%	1,750	101.9%
リフォーム事業	8	3.5%	54	7.3%	70	784.5%	200	368.6%
その他事業	126	213.5%	261	145.3%	140	110.9%	300	114.9%
配賦不能額	1,300	105.8%	2,649	107.8%	1,350	103.8%	2,750	103.8%
合計	3,203	121.8%	9,253	97.0%	3,400	106.2%	10,500	113.5%
【受注残高】								
シャッター関連事業	16,796	126.3%	15,860	125.0%	19,800	117.9%	18,650	117.6%
建材関連事業	34,424	122.0%	29,575	111.0%	40,000	116.2%	33,400	112.9%
サービス事業	1,572	99.4%	1,415	102.4%	1,600	101.8%	1,500	106.0%
リフォーム事業	1,037	66.2%	692	59.5%	1,200	115.7%	1,200	173.4%
その他事業	854	104.9%	684	76.3%	1,150	134.7%	1,100	160.8%
合計	54,685	120.2%	48,229	112.7%	63,750	116.6%	55,850	115.8%
【受注高】								
シャッター関連事業	26,066	105.1%	51,236	102.9%	26,939	103.4%	54,289	106.0%
建材関連事業	29,604	102.2%	55,935	100.3%	38,124	128.8%	67,424	120.5%
サービス事業	7,335	113.9%	15,535	107.1%	7,784	106.1%	16,284	104.8%
リフォーム事業	4,251	79.4%	7,947	72.8%	5,207	122.5%	10,107	127.2%
その他事業	1,782	94.1%	3,444	91.5%	2,465	138.3%	4,515	131.1%
合計	69,039	102.4%	134,099	99.5%	80,520	116.6%	152,620	113.8%

第三次中期経営計画の進捗状況について

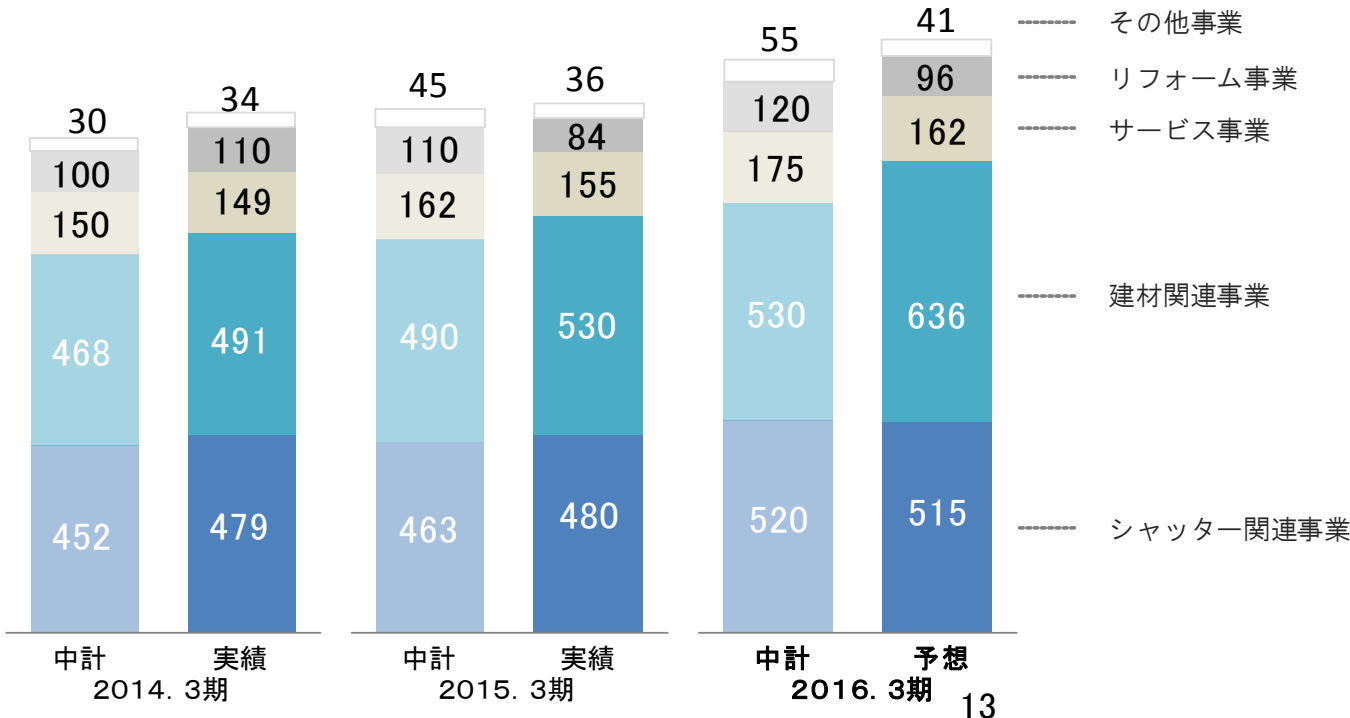
第三次中計の進捗状況とセグメント別売上高推移

(億円)

	2014.3期		2015.3期		2016.3期	
	中計	実績	中計	実績	中計	計画
売上高	1,200	1,266	1,270	1,286	1,400	1,450
伸率	106.3%	112.1%	105.8%	101.6%	110.2%	112.8%
営業利益	70	95	76	92	92	105
営業利益率	5.8%	7.5%	6.0%	7.2%	6.6%	7.2%
投資額	30	26	35	33	35	35

- ◆ 第三次中期経営計画の2年目となる15年3月期は、売上高は1,286億円、営業利益は92億円。
- ◆ 中計最終年度の16年3月期は、売上高は50億円増の1,450億円、営業利益は13億円増の105億円をめざす。

事業別売上高推移(億円)



第三次中計の基本テーマ

『企業革新の実現』

営業力の革新

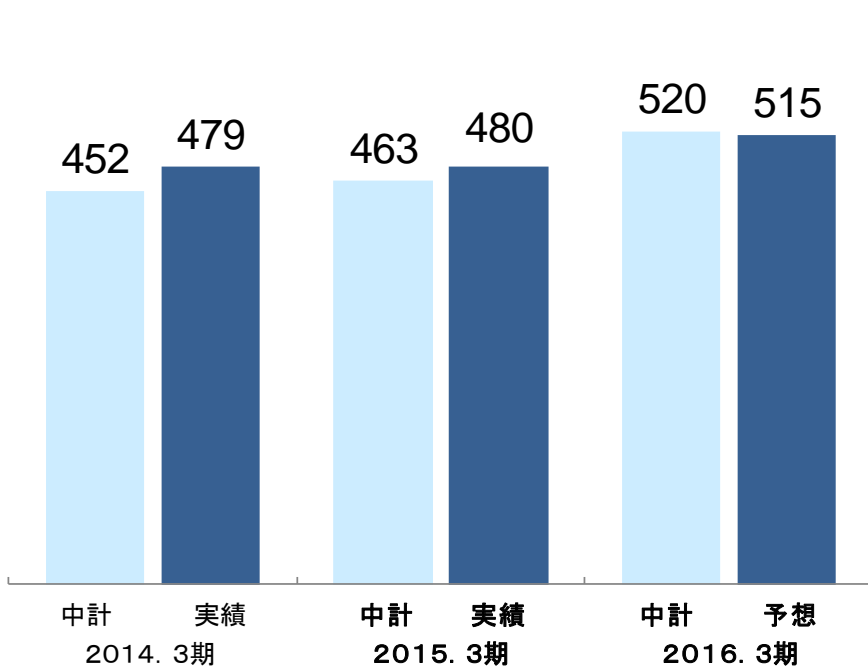
生産力の革新

商品力の革新

組織力の革新

経営基盤の革新

「シャッター事業」売上高(億円)



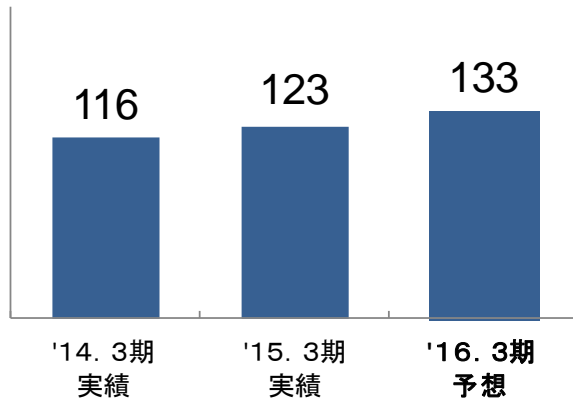
◆ 16年3月期の「シャッター事業」の売上高は、前期比35億円増の515億円をめざす。

「重量シャッター」は、堅調な非住宅市場を背景に受注をより強化する。

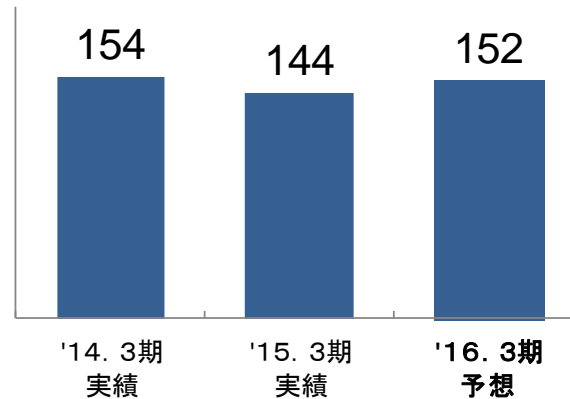
「軽量シャッター」は、電動タイプを中心に高付加価値商品を拡販する。

「窓シャッター」は、新設住宅着工戸数の回復を背景に電動タイプを中心に拡販する。

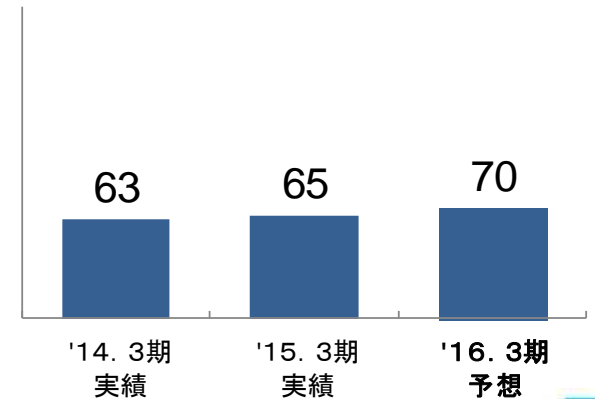
「重量シャッター」売上高(億円)



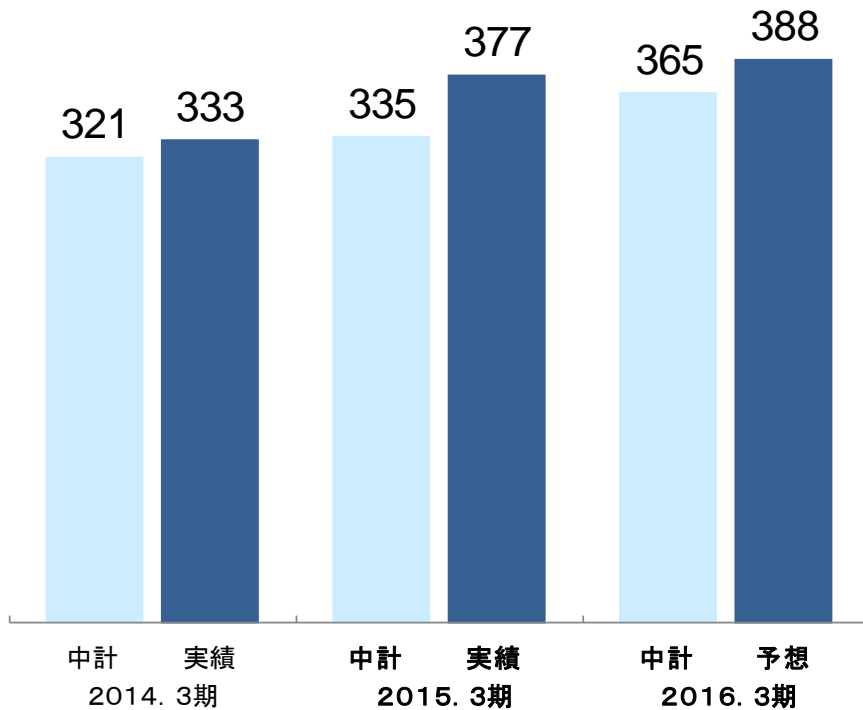
「軽量シャッター」売上高(億円)



「窓シャッター」売上高(億円)



「ドア事業」売上高(億円)



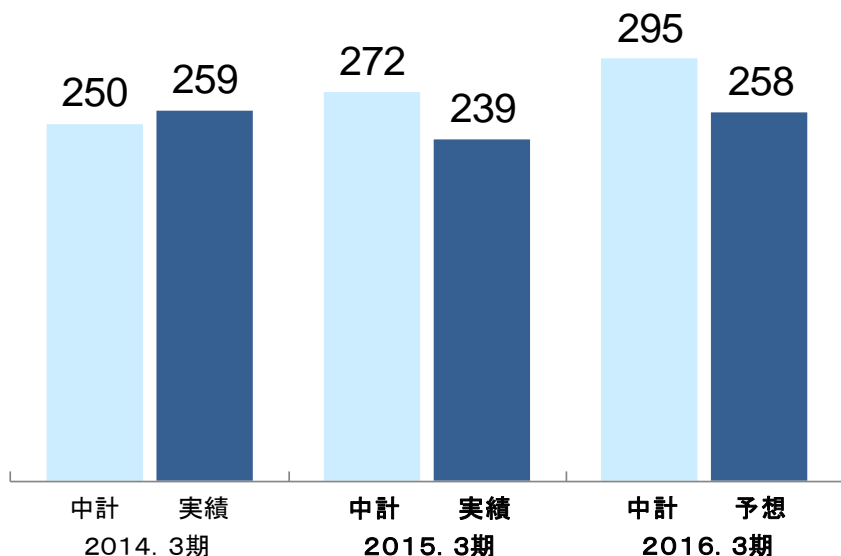
- ◆ 16年3月期の「ドア事業」の売上高は、物流施設やオフィスビル向けの「スチールドア」の受注強化と、サービス付き高齢者住宅など福祉施設や病院向け「引き戸」の拡販により、売上高は前期比11億円増の388億円をめざす。
- ◆ 今年3月、基幹工場である小山工場に「スチールドア」の生産ラインを新設。今後大幅な受注が見込まれる「スチールドア」の安定供給をめざし、生産体制の整備・強化を進める。

◆引き戸製品ラインアップ



「サービス事業&リフォーム・リニューアル事業」

売上高(億円)



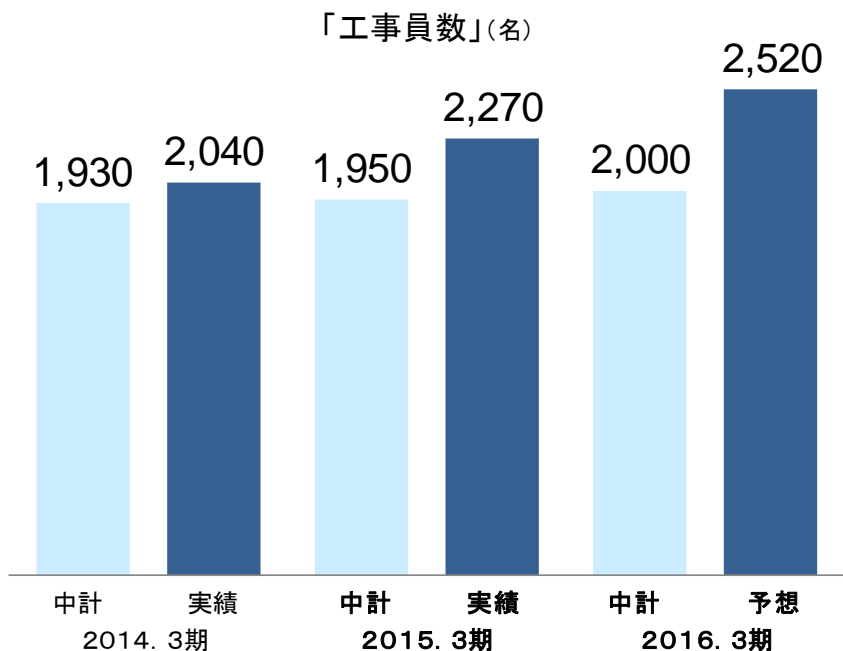
ストック市場への注力について

- ◆ 「サービス事業」は、好調な修理・メンテナンス対応に引き続き注力していく。また、防火設備の検査報告制度の導入を受け、点検資格者の確保・育成を強化する。
- ◆ 「リフォーム事業」は、新商品の拡充をはじめ、施工体制の充実などBXグループとしての連携を強化することで顧客拡大を図る。
- ◆ 「リニューアル事業」は、専門業者との連携を強化し、シャッターやドアの取り替え需要の掘り起こしにつなげる。
- ◆ 16年3月期の「ストック市場」向け売上高は、「リフォーム事業」の回復を見込み、前期比19億円増の258億円をめざす。



保守点検の様子





- ◆ 積極的な受注活動を進める上で「施工力の強化」は不可欠であることから、「工事員の増強」と「施工品質の向上」を推進中。
- ◆ 「工事員の増強」について、15年3月期は育英制度と紹介制度の活用により、前期比230名増の2,270名の施工体制とした。
- ◆ 16年3月期は、引き続き両制度を活用することで、前期比250名増の2,520名の施工体制を構築する。
- ◆ 「施工品質の向上」については、昨年整備した東西の研修施設を活用し、引き続き新人工事員の育成強化を図る。

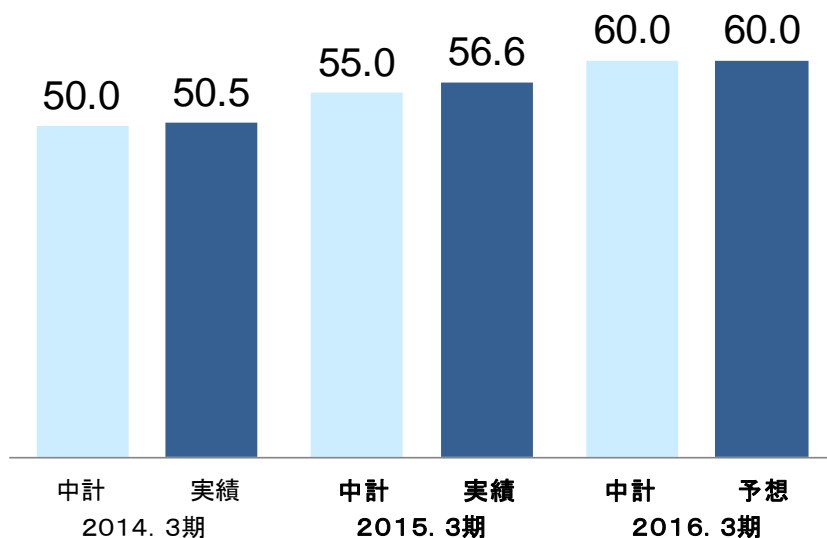


シャッター及びドアの施工研修の様子

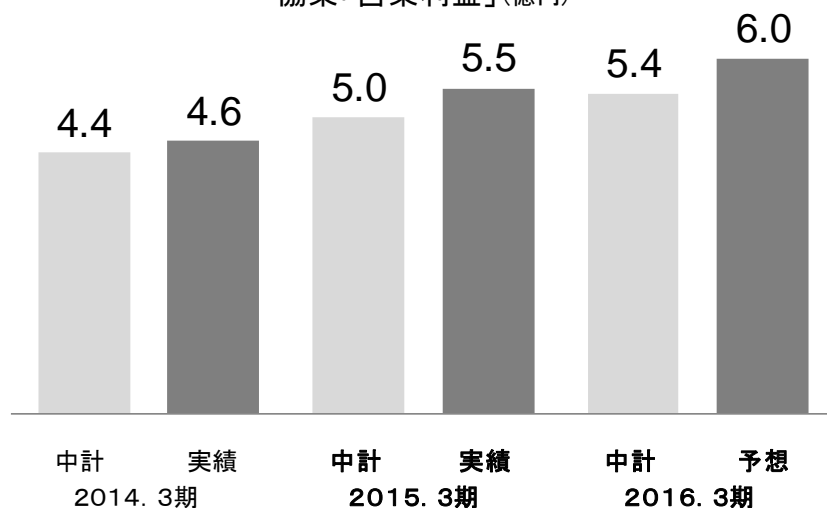


座学研修の様子

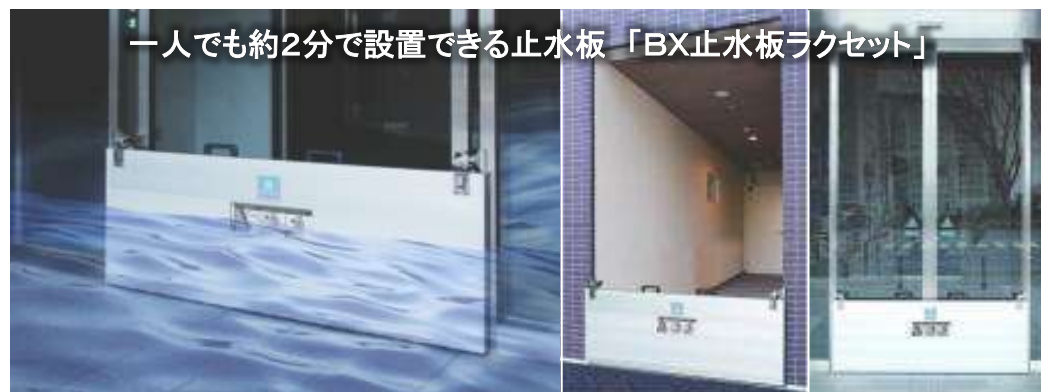
協業「売上高」(億円)



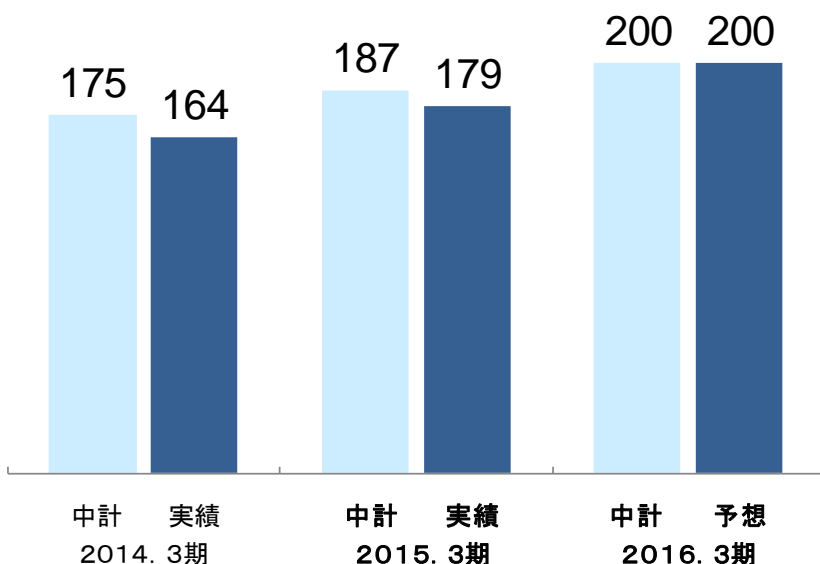
協業「営業利益」(億円)



- ◆ 15年3月期は、国内のみならずアジア市場における双方の物件紹介や複合販売により、売上高は前期比6億1,100万円増の56億6,600万円、営業利益は前期比9,500万円増の5億5,000万円。
また、物流費の削減や、製品のコストダウンにより約1億円のコストダウンを実施。
- ◆ 商品開発においては、不二サッシのノウハウを組み合わせた止水商品、「BX止水板ラクセット」を今年4月より発売。
- ◆ 16年3月期は、国内では製・販・工の協業体制をより一層強化する。国外においては東南アジア市場における大型商業施設や工場向けの複合販売を強化し、売上高は前期比3億3,400万円増の60億円、営業利益は前期比5,000万円増の6億円をめざす。



「高付加価値商品売上高」(億円)



- ◆ 15年3月期の売上高は、前期比15億円増の179億円。なお、売上高に占める高付加価値商品の割合は13.9%と0.9ポイント増加。
- ◆ 16年3月期の売上高は、前期に投入した新商品の拡販を積極的に進めることで、前期比21億円増の200億円をめざす。

◆高付加価値商品のラインアップ

＜住宅向け＞

「エスプリモート」「御前様」「フラットピット」
「大静快」「電動窓シャッター」

＜工場・倉庫向け＞

高速シートシャッター「大間迅」

＜医療・福祉施設向け＞

「カームスライダー」「ヒクオス」
「スライドレ」「ヴァリフェイス」

＜その他施設向け＞

木粉入り樹脂エクステリア「テクモク」
「オーニング」

2014年以降投入の高付加価値商品



スマートフォンで家じゅうの窓シャッターをコントロール
「マドマスター・スマートタイプ」



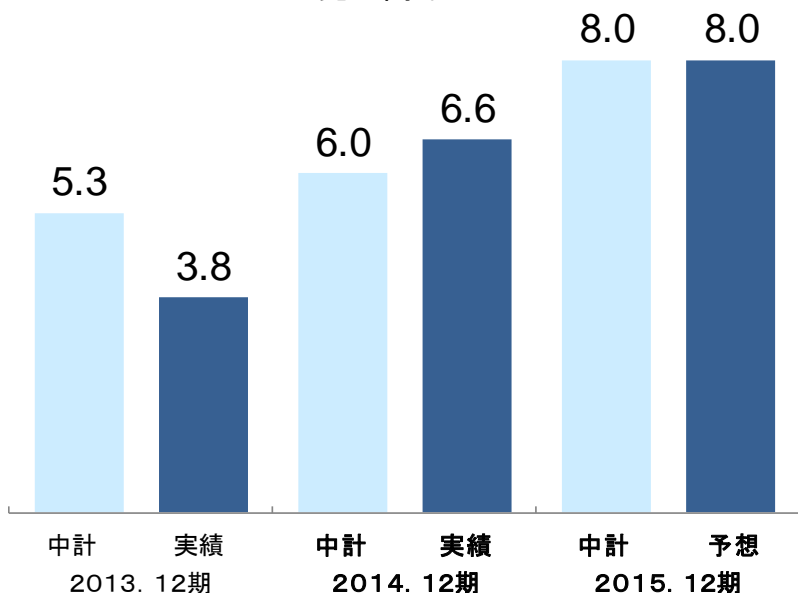
対震性能を備えた高齢者集合住宅向け玄関引き戸
「ヴァリフェイスAi」



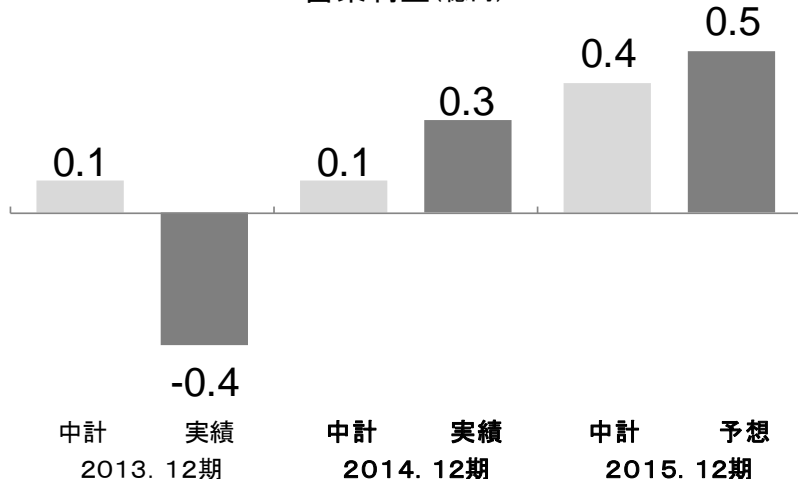
マイナス30°Cの環境にも設置可能な大間迅のニューラインアップ！
マイナス30°Cの環境に設置できる高速シートシャッター
「大間迅M2フリーザータイプ」

BX BUNKA VIETNAM Co.,Ltd

売上高(億円)



営業利益(億円)



ベトナムを中心とした海外事業展開について

- ◆ 14年12月期は、大型商業施設や空港施設の受注により、売上高は前期比2億8,000万円増の6億6,000万円。営業利益は、売上の拡大と原材料の現地調達化により、初の黒字化を達成。
- ◆ 15年12月期は、東南アジアにおける大型商業施設の受注と、不二サッシとの協業による複合販売の推進により、売上高は前期比1億4,000万円増の8億円、営業利益は前期比2,000万円増の5,000万円をめざす。
- ◆ ベトナムのみならず東南アジアにおける商業施設、工場、高層住宅向けの受注拡大に対応するため、今期はドアとシャッターの生産能力を拡大する設備投資を実施予定。



BX BUNKA VIETNAM 大間迅ライン



BX BUNKA VIETNAM ドアライン

(億円)

	2014.3期	2015.3期	2016.3期	主な施策
	実績	実績	予想	
製造・開発部門 コスト削減	2.9	4.7	5.0	材料コスト削減 製品VE ムダ、ムラの削減
販売・設計・施工 部門コスト削減	1.8	0.5	0.5	商品仕入れ見直し 作図生産性向上 施工生産性向上
一般固定費削減	0.6	0.2	0.2	契約単価見直し等
コスト削減の合計	5.3	5.4	5.7	

企業コスト削減の取り組みについて

- ◆ 16年3月期は、生産ラインの自動化、無人化などによる生産性向上により、5億7,000万円のコスト削減をめざす。

トピックス

◆会社概要

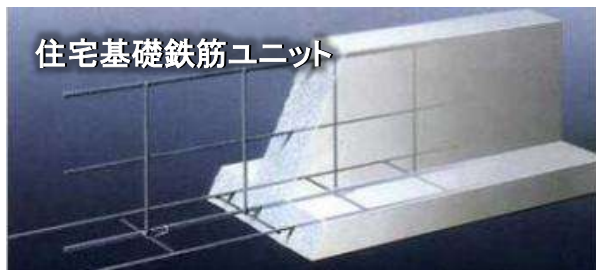
有限会社西山鉄網製作所

東京都葛飾区堀切4-57-21

資本金 4,000千円

売上高 9,264百万円(2014年10月期)

住宅基礎鉄筋ユニット・ラス・スパイラルフープ、鉄線・溶接金網の製造販売



住宅基礎鉄筋ユニット



ラス

- ◆ 首都圏を中心とした住宅向け基礎鉄筋ユニット、溶接金網、ラス等の製造メーカーである西山鉄網製作所の全株式を、今年4月1日付けで取得。
- ◆ BXグループの建材事業の拡大、顧客基盤の強化、収益モデルの多様化を推し進める。
- ◆ 今期は、売上高90億円、営業利益5億5,000万円をめざす。

◆拠点

本社(東京都葛飾区)、南那須工場・栃木営業所(栃木県那須烏山市)

郡山工場・郡山営業所(福島県郡山市)、東京物流センター(千葉県浦安市)



南那須工場・栃木営業所



郡山工場・郡山営業所

◆ 2014年以降に発売した新商品

◆ シャッター関連



マイナス30℃の環境に設置
できる高速シートシャッター
「大間迅M2フリーザータイプ」



無線式危害防止装置
(新設・既設シャッターに対応)
「マジックセーフ」



スマートフォンで家じゅうの
窓シャッターをコントロール
「マドマスター・スマートタイプ」



住宅の外壁にマッチした
ガレージシャッター
“木目調”「御前様」「小町様」

◆ 建材関連



安全性と耐久性、デザイン性をより
向上させた園児用トイレブース
「プレキッズ」



対震性能を備えた高齢者
集合住宅向け玄関引き戸
「ヴァリフェイスAi」

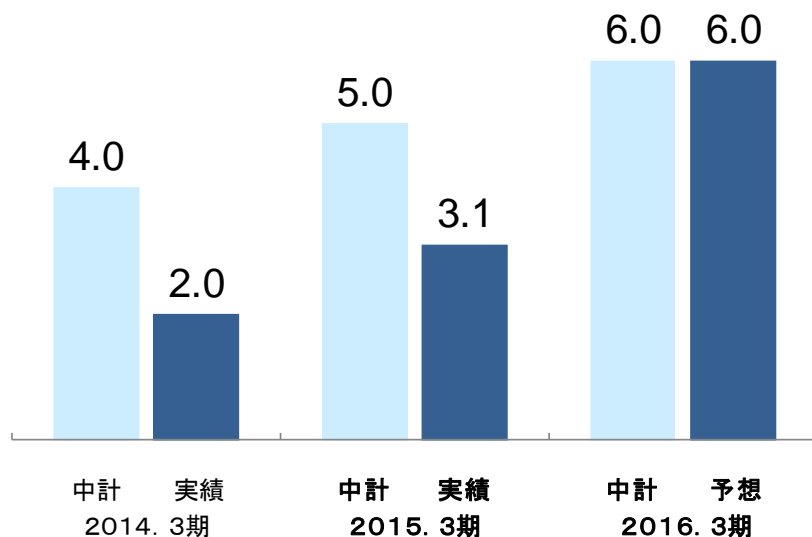


開放軽減機構により扉単体で
火災時避難経路の安全性を確保
「エア・バルンサー」



高齢者施設・住宅室内に最適な
あたたかみと耐久性を備えた引き戸
「木製二重引きタイプ」

「止水事業」売上高(億円)



- ◆ 今年4月15日より、設置後も開口部からの出入りができ、多様な開口部に一人でも約2分でスピード設置できるアルミ製の止水板「BX止水板 ラクセット」を発売開始。
- ◆ 15年3月期の「止水事業」の売上高は、前期比155.2%の3億1,900万円。
- ◆ 16年3月期は、増加傾向にあるゲリラ豪雨による建物への浸水対策として、ラインアップの拡充を進めてきた当社オリジナルの止水商品を積極的に提案していくことで、売上高は前期比193.5%の6億円を見込む。

当社オリジナル止水商品のラインアップ



「止めピタ」



「止水板付きシャッター」



止水ドア「アクアード」



「BX止水板ラクセット」



参考資料

- 経営理念 「常にお客様の立場に立って行動します」
「優れた品質で社会の発展に貢献します」
「積極性と和を重んじ日々前進します」
- 概 要 文化シャッター株式会社及び子会社16社
- 事 業 シャッター事業、ビル建材事業、住宅建材事業、リフォーム事業、
リニューアル事業、保守・点検・サービス事業、他
- 拠 点 289営業拠点 119サービス拠点 25工場
- 従業員数 3,518名(2015年3月末現在)

【文化シャッター株式会社(単体)】

代表者 代表取締役社長 執行役員社長 茂木 哲哉

設 立 1955年(昭和30年)4月18日

資本金 15,051百万円

本 社 東京都文京区西片1-17-3

文化シャッター株式会社

シャッター関連製品事業

「電動開閉機」製造・販売

新生精機 株式会社

「オーニング」製造・販売

BXテンパール 株式会社

「シャッター」製造・販売

**BX沖縄文化シャッター
株式会社**

建材関連製品事業

「ドア」「パーティション」製造

BX文化パネル 株式会社

「ドア」「スライディングウォール」
製造・販売

BXティアール 株式会社

「ドア」製造

BXケンセイ 株式会社

BX鐵矢 株式会社

BX東北鐵矢 株式会社

BX朝日建材 株式会社

「ステンレス建材」製造・販売

BX紅雲 株式会社

「建築材料」製造・販売

有限会社 西山鉄網製作所

サービス事業

「保守・点検」「修理加工」

**文化シャッターサービス
株式会社**

その他事業

「注文家具」製造・販売

BX文化工芸 株式会社

損害保険代理業

BXあいわ 株式会社

リフォーム事業

住宅向けリフォーム事業

**ゆとりリフォーム
株式会社**

海外事業展開

「シャッター」「ドア」「オーニング」
製造、販売

BX BUNKA VIETNAM Co.,Ltd.
(ベトナム)

「各種シャッター製品」
販売・メンテナンス

BX BUNKA TAIWAN Co.,Ltd.
(台湾)

～海外企業との技術提携～

ベルギー「ダイナコ社」
1999年より高速シートシャッター
「エア・キーパー大間迅」を発売

「BX BUNKA TAIWAN Co.,Ltd.」
「株式会社中央工業」
:非連結子会社で持分法非適用会社
「不二サッシ株式会社グループ」
:関連会社で持分法適用会社
「文化シャッター秋田販売株式会社」
「文化シャッター高岡販売株式会社」
「株式会社エコウッド」
:関連会社で持分法非適用会社

(単位:百万円、%)

	2014年3月期		2015年3月期		増 減	
		構成比		構成比		前期末比
流動資産	72,488	66.0	77,599	65.7	5,110	107.1
現金・預金	22,612	20.6	25,015	21.2	2,402	110.6
受取手形・売掛金	35,319	32.2	37,469	31.7	2,150	106.1
たな卸資産	11,165	10.2	11,485	9.7	318	102.9
その他	3,388	3.1	3,627	3.1	240	107.1
固定資産	37,292	34.0	40,457	34.3	3,165	108.5
土地	8,373	7.6	9,014	7.6	640	107.7
投資有価証券	9,305	8.5	11,555	9.8	2,249	124.2
その他の投資・資産	2,745	2.5	2,102	1.8	△ 643	76.6
その他	16,869	15.4	17,786	15.1	917	105.4
資産合計	109,780	100.0	118,056	100.0	8,276	107.5
流動負債	41,229	37.6	41,985	35.6	755	101.8
支払手形・買掛金	24,367	22.2	25,282	21.4	915	103.8
短期借入金	1,800	1.6	1,400	1.2	△ 400	77.8
その他	15,062	13.7	15,303	13.0	241	101.6
固定負債	18,044	16.4	18,742	15.9	698	103.9
長期借入金	480	0.4	80	0.1	△ 400	16.7
退職給付に係る負債	15,832	14.4	16,885	14.3	1,053	106.7
その他	1,732	1.6	1,777	1.5	45	102.6
負債合計	59,274	54.0	60,727	51.4	1,453	102.5
純資産合計	50,506	46.0	57,328	48.6	6,822	113.5
負債・純資産合計	109,780	100.0	118,056	100.0	8,276	107.5

1株当たり株主資本

704円38銭

799円62銭

期末株価

633円

994円

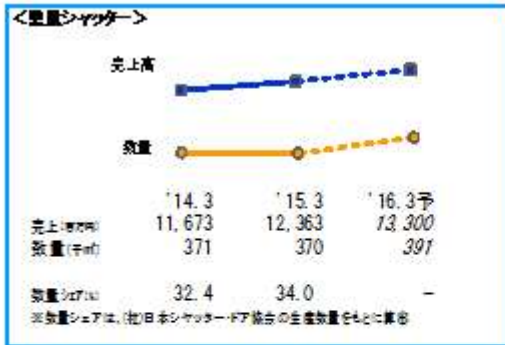
PBR(株価純資産倍率)

0.90

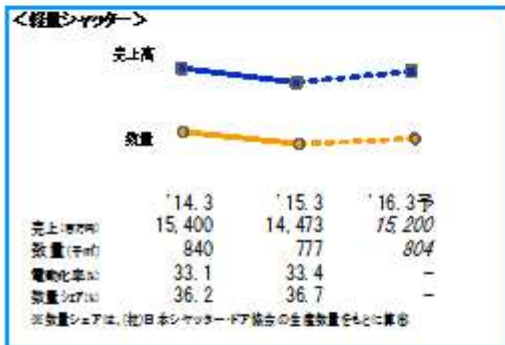
1.24

(単位:百万円)

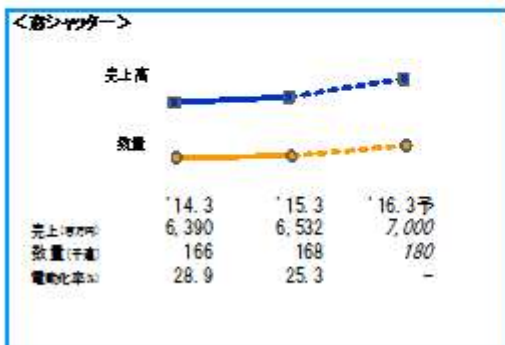
	2014年3月期	2015年3月期	増減
1. 営業活動によるキャッシュ・フロー	7,663	6,954	△ 709
税金等調整前当期純利益	10,583	10,466	△ 117
減価償却費	1,647	1,786	139
売上債権の増減額(△は増加)	△ 4,682	△ 2,150	2,532
仕入債務の増減額(△は減少)	2,675	915	△ 1,760
たな卸資産の増減額(△は増加)	582	△ 317	△ 899
法人税等の支払額	△ 3,562	△ 4,093	△ 531
その他	420	347	△ 73
2. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,272	△ 2,724	△ 452
投資有価証券の売却による収入	8	-	△ 8
投資有価証券の取得による支出	△ 5	△ 39	△ 34
有形固定資産の売却による収入	54	489	435
有形固定資産の取得による支出	△ 2,134	△ 2,248	△ 114
無形固定資産の取得による支出	△ 200	△ 150	50
その他	5	△ 776	△ 781
3. 財務活動によるキャッシュ・フロー	885	△ 2,525	△ 3,410
長期借入金の返済による支出	△ 800	△ 800	0
配当金の支払額	△ 824	△ 1,147	△ 323
その他	2,509	△ 578	△ 3,087
4. 現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	6,208	1,651	△ 4,557
5. 現金及び現金同等物の期首残高	15,722	21,931	6,209
6. 現金及び現金同等物の期末残高	21,931	23,582	1,651



- ◆ 15年3月期は、主に工場向けと商業施設向けが好調に推移した結果、売上高は前期比105.9%と増加。
- ◆ 16年3月期は、採算重視を前提に受注活動を強化することで、売上高は前期比107.6%の133億円を計画。

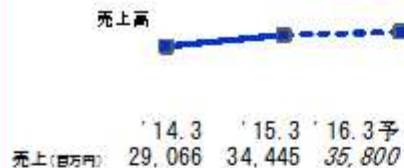


- ◆ 15年3月期は、消費税増税後の影響で、売上高は前期比94.0%と減少。
- ◆ 16年3月期は、新設住宅着工戸数の回復を見込み、電動タイプを中心とした高付加価値商品の拡販に向けた受注活動を強化することで、売上高は前期比105.0%の152億円を計画。



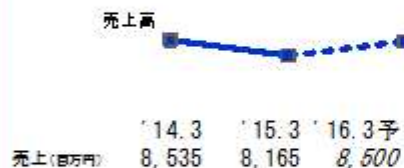
- ◆ 15年3月期は、防火認定を取得したタイプが好調に推移した結果、売上高は前期比102.2%と増加。
- ◆ 16年3月期は、新設住宅着工戸数の回復を見込み、雨戸から電動タイプへの取り替え、及び大型化する台風・竜巻対策の防災商品として受注活動を強化することで、売上高は前期比107.2%の70億円を計画。

<ドア>



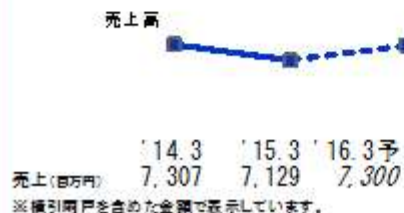
- ◆ 15年3月期は、主に医療・福祉施設向けが好調に推移した結果、売上高は前期比118.5%と増加。
- ◆ 16年3月期は、引き続き医療・福祉施設向けの引き戸やオフィスビル向けのスチールドアを中心に採算重視の受注活動を強化することで、売上高は前期比103.9%の358億円を計画。

<パーティション>



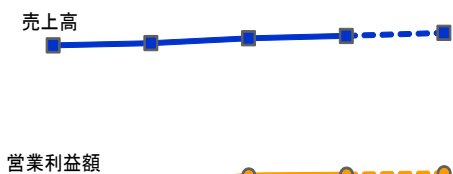
- ◆ 15年3月期は、主に公共施設向けと医療・福祉施設向けが好調だったものの、文教施設向けが低調に推移したことで、売上高は前期比95.7%と減少。
- ◆ 16年3月期は、文教施設向けの取り替えやオフィスビル向けの受注活動を強化することで、売上高は前期比104.1%の85億円を計画。

<エクステリア>



- ◆ 15年3月期は、消費税増税後の影響で、売上高は前期比97.6%と減少。
- ◆ 16年3月期は、新設住宅着工戸数の回復を見込み、エコ建材「テクモク」の受注活動を強化することなどで、売上高は前期比102.4%の73億円を計画。

<サービス事業>



	'12.3	'13.3	'14.3	'15.3	'16.3予
売上高(百万円) (保守・点検・修理加工)	13,358	13,879	14,983	15,502	16,200
営業利益(百万円)	1,230	1,437	1,697	1,717	1,750
営業利益率(%)	9.2	10.4	11.3	11.1	10.8

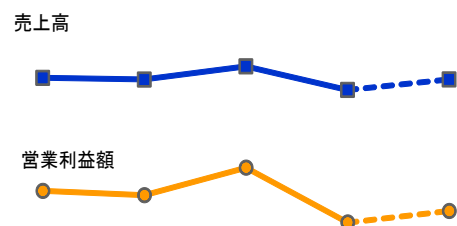
◆ 15年3月期は、修理及びメンテナンス対応が堅調に推移したことで、売上高は前期比103.5%と増加。

◆ 16年3月期は、防災気運の高まりを受け、安全性を高める装置の設置と、保守点検契約の提案を積極的に推し進めることで、売上高は前期比104.5%の162億円を計画。



修理・保守点検の様子

<リフォーム事業>



	'12.3	'13.3	'14.3	'15.3	'16.3予
売上高(百万円)	9,758	9,573	11,042	8,417	9,600
営業利益(百万円)	449	395	740	54	200
営業利益率(%)	4.6	4.1	6.7	0.6	2.1
店舗数	22	21	21	21	-

◆ 15年3月期は、消費増税後の影響により、売上高は前期比76.2%と減少。

◆ 16年3月期は、パッケージ型の定額商品「安心価格」及び「超安心価格」の拡充・拡販と、BXグループとしての連携強化により顧客拡大を図ることで、売上高は前期比114.0%の96億円を計画。

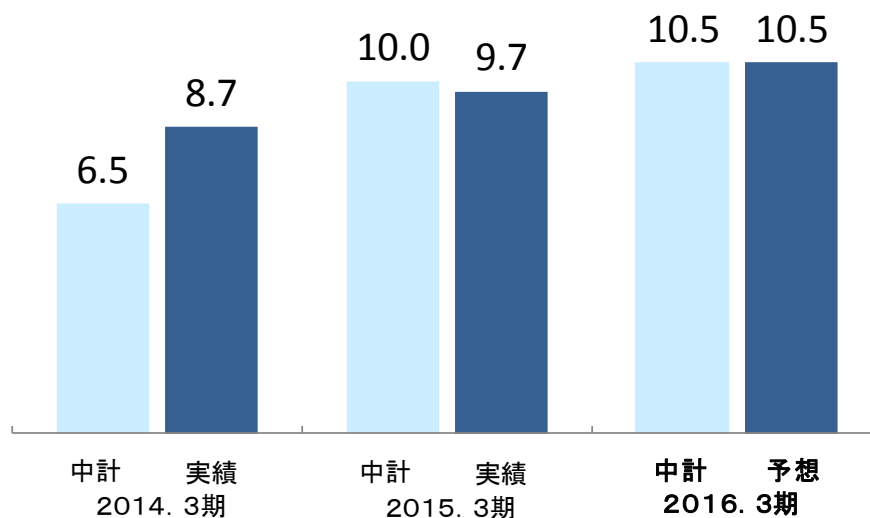
東証一部上場 文化シャッターグループ リフォーム専門会社

ゆとりフォーム



パッケージ型の定額
リフォーム商品「安心
価格」と、追加工事
不要の「超安心価格」

「太陽光発電システム事業」売上高(億円)



- ◆ 15年3月期の売上高は、前期比111.6%の9億7,000万円。
- ◆ 16年3月期は、電力買い取り価格が減額となるものの、主に住宅向けの受注に注力することで、売上高は前期比108.2%の10億5,000万円を計画。



問い合わせ先

文化シャッター株式会社 経営企画部広報室 曾根、小林

TEL03-5844-7150 FAX03-5844-7141

E-mail bxinfo@mail.bunka-s.co.jp

<http://www.bunka-s.co.jp/>